

新入生教務ガイダンス

理工学部 電気工学科

学生証をICカードリーダーにかざしてください。

※ 学生証を忘れた方は、出席カードを配りますので、ガイダンス終了時に提出してください。



新入生教務ガイダンス

理工学部 電気工学科 1年次

大学入学後は、分からないことが多いが、『何が分からないのかを知ること』そして、分からないことは必ず聞くこと。

配布物の確認

1. 配付書類及び解説
2. 新入生オリエンテーション等日程表
3. 学生便覧
4. 履修ガイド(各学部別)
5. 履修ガイド(K'sLife利用ガイド)
6. 授業時間割表
7. 教職課程について
8. 創立60周年記念オリジナルEdyカード及びチラシ
9. 教科書購入一覧表
10. 教科書購入申込書(OCR)
11. 外国語学習の手引き2020
12. Campus
13. 学友会ハンドブック
14. 若いときから知っておくべきお酒のこと
15. 基礎から学べる金融ガイド
16. 薬物乱用防止リーフレット
17. ごみルールブック
18. 大切なあなたを守るために・・・福岡県警察
19. 定期健康診断日程表
20. 学生教育研究災害傷害保険のしおり
21. お金の心配なく学びつづけたい学生のみなさんへ
22. 国際交流センター報(JUNCTION)
23. キャンパスハラスメント冊子
24. 九州産業大学美術館展覧会スケジュール2020-2021
25. 九州産業大学美術館展覧会「家具をつくる一暮らしを語るデザイン」チラシ
26. 九州産業大学資格取得講座等総合案内
27. 大楠アリーナ2020パンフレット
28. 入学直後アンケート

封筒の中に、
「配付書類及び解説」(A4縦1枚)
に記載されているものが、すべて
入っているか確認してください。

まず初めに

高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項目	高校	大学
クラス制及びクラス担任	あり(1クラス10人~20人程度)	あり(クラス担任は、1年次のゼミナールの担当教員)
HR/朝礼	あり	なし(大学からの連絡や情報は、K'sLife、教務部HP、掲示板に掲載します。)
学期制	基本的に3学期制	2学期制(前学期・後学期)
休み期間	8月、12月下旬~1月上旬、3月末	8月上旬~9月上旬、12月下旬~1月上旬、2月~3月
授業時間	50分	100分
1科目の授業回数	週数回	基本的に週1回
授業形態	「クラス」単位で着席位置を決められていることが多い。クラスごとの時間割に合わせ、各教科の先生が授業を行う。	基本的に着席は自由です。(中には着席位置が決められている授業もあります。) ①講義:先生が学生の前で授業する。 ②実習・実験:先生からの課題などについて実習・実験する。 ③ゼミナール:少人数制で、課題から自分で発表するテーマを決め、各自で調査し、みんなの前でプレゼンテーション(発表)などを行う学生中心の授業。

まず初めに

高校と大学の違い

大学生は、自己責任！！

項目	高校	大学
履修(時間割)	決まっている (クラスで共通)	決まっていない(自分で登録する) 自分の興味や、取得したい資格及び将来設計に合わせ、時間割を作成する卒業要件を確認した後、年次別授業科目配当表及び授業時間割表の中から、自分の学修したい科目を選択する。
教室	クラスで決まっている	授業科目毎に決まっている。 選択した授業の教室に自分が行きます。科目によって、教室の規模が異なります。(30名～多い教室では500名超座席があります)
出欠	取る	取る場合がほとんどだが、取らない場合がある
欠席の連絡	必要	不要(1ヶ月以上の場合は必要)
卒業要件	基本的に学年制	単位制(124単位以上)(卒業要件を確認すること) 基本的には1年間の成績で「留年」と判断されることはありません。大学では、学修の量を「単位」として計算し、授業科目を履修して、試験に合格すると、定められた単位数を修得することができます。単位数は授業の種類によって定められているので、自分が在籍する学部の卒業に必要な単位数をしっかりと確認しながら、授業を履修することが必要です。
アルバイト	原則禁止	自由

用語説明

履修登録とは？

→自分で時間割を作成し、Web登録すること。

K'sLife（ケース ライフ）とは？

→学生教育支援・事務情報システム

個人の履修登録、成績、連絡通知を閲覧できるWebサイトのこと。

（本学のホームページより閲覧）

シラバスとは？

→授業科目の講義内容や学修計画のこと

K'sLife（ケースライフ）で閲覧可能。

※学生証

*本人確認できる身分証明書。常に携帯すること

*内蔵のICチップを破損しないよう大切に扱うこと

コロナウイルス感染症拡大に伴う 学年暦の変更について

コロナウイルス感染症拡大に伴い、本学での安全・安心な授業体制を整えるため、授業開始を**延期**します。

配布している学生便覧・履修ガイド(K'sLife利用ガイド)等に記載の学年暦(1年間のスケジュール)は**変更前**のものです。

今から説明するスライド内容については、**変更後**の学年暦をお伝えするため、本日の内容を必ず参考にしてください。

学生便覧とは

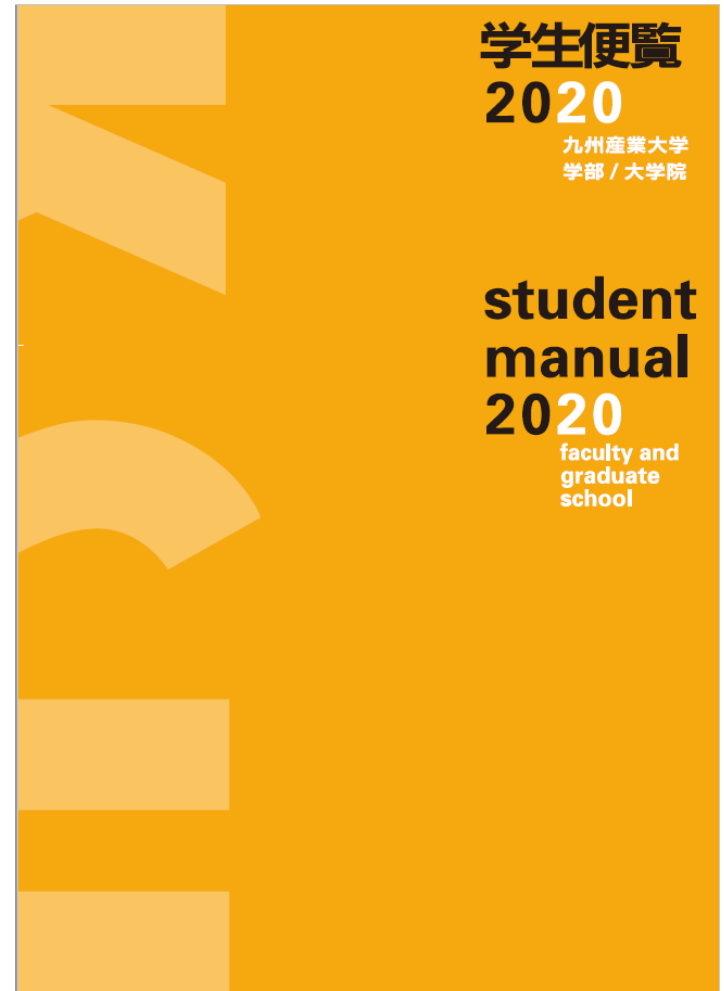
在学中、すべてのルールはこの学生便覧に基づいている。紛失しないこと。

★学年暦 (P. 1～2)

1年間のスケジュール
補講日や祝日授業日等
行事日程を掲載

★担当部所

授業・試験・履修登録
に関する事＝教務課



学年暦

授業は、**前学期13回**、**後学期14回**

4月 9月 3月

前学期

夏季休業

後学期

冬季休業

・前学期授業開始 **4/22(水) 全13回**

・祝日授業実施日 **4/29(水)**等

・**7/4(土)→火曜授業**

・補講日(土曜日)

4/25、5/16、5/30、6/13、

6/27、7/11、**7/24**

・前学期定期試験 7/25(土)～7/31(金)

・後学期授業開始 9/14(月) 全14回

・祝日授業実施日 9/21(月)等

・**12/23(水)→月曜授業**

・補講日(土曜日)

9/26、10/10、10/24、11/7、11/21、

12/5、12/19、1/7

・後学期定期試験 1/8(金)～1/18(月)

・夏季休業 8/4(火)～

・冬季休業
12/24(木)～

前学期の成績公開日は、8月31日(月)

後学期の成績公開日は、3月10日(水)

卒業要件と単位認定方法

「学則」 大学全体に関するルール

- ・ 第15条：卒業要件（P. 8）

別表第10は、P. 62に記載。

卒業までに124単位以上必要！

- ・ 第18条：単位の認定（P. 8）

授業科目修了の認定は、筆記又は口頭による試験や
その他適当な方法によって行われます。

成績表示は

秀（S）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D/E）

単位修得

学則

卒業要件

授業科目区分		授業科目及び単位数				
		情報科学科	機械工学科	電気工学科		
専門科目	必修科目	40単位	さらに専門科目、基礎教育科目、外国語科目から12単位以上	60単位	56単位	さらに専門科目、基礎教育科目、外国語科目から18単位以上
	選択必修科目	—		—	4単位以上	
	選択科目	48単位以上		42単位以上	24単位以上	
基礎教育科目	導入科目	2単位		2単位	14単位以上	
	実践科目	12単位以上		12単位以上		
	教養科目					
	心と身体の健康科目					
外国語科目		10単位以上 (英語8単位を含む)		英語8単位以上	英語8単位以上	
合計		124単位以上		124単位以上	124単位以上	

**卒業するまでに必要な単位は、124単位！！
但し、卒業要件を満たしていないといけません。**

学生便覧P. 126

受験心得・学生証・教員組織

- **受験心得 (P. 415)**
定期試験の受験心得。一度は読んでおくこと。
- **学生証の取扱**
本人確認できる大切なもの。常に携帯すること!!
内蔵のICチップを破損しないよう大切に扱うこと。
- **教員組織 (P. 421)**
理工学部電気工学科の専任教員は
8号館の4～7階に研究室があります。
非常勤講師控室は12号館3階理工学部事務室内と
8号館の4階にあります。

履修ガイドについて

履修とは



履修とは: 卒業要件を確認した上で、当該学部・学科の授業科目を学修し、単位修得するために授業の受講登録をすること。

履修ガイド: 本年度の履修に関する手引書講義を受ける上での注意事項が記載している。
必ず一読し、履修登録すること。

履修登録: 自分の時間割を作成した上で、WEBで授業科目の履修を登録することです。学生便覧の授業科目履修規程、年次別授業科目配当表及び授業時間割表を確認すること。

履修ガイドについて

シラバス

授業科目名、授業担当教員、授業概要、授業計画、成績評価基準などを記載している。必ず、シラバスを確認した上で、履修登録すること。

K'sLifeによるWeb履修登録の際にも、シラバスを確認することができます。

科目コード	0FG2001																																
科目名	地域共創学概論																																
担当教員	真木 圭亮 湯道 裕俊 佐藤 忠文 緒方 泉 木村 俊夫 古賀 弥生 宗像 徳栄 松 龍山下 永子 横井 克典 行平 真也 瑞慶山 広大 高田 和幸																																
対象学年	1年																																
クラス	[001]																																
講義室	N303教室																																
履修学期	前期																																
曜日・時間	火4																																
単位区分																																	
授業形態																																	
単位数																																	
評価事項																																	
備考																																	
実施教員	○																																
A 授業概要/Class Outline	<p><IPおよびGPとの関連性> 本講義は、地域づくり学科のOP1およびOP1に基づいて、様々な角度からの地域共創を学ぶことを目的として設置している。</p> <p><カリキュラム上の位置付けや水準> 本講義は、地域づくり学科における最も基礎的な科目として、1年次に配当されている。</p> <p><内容> 「地域づくり」が大きく変化しつつある。かつて地域づくりは自治体が主体となり行うものであった。近年では自治体だけでなく、企業やNPO法人、さらにはその地域に暮らし住民が共に手を取り合って地域づくりを行うようになっている。すなわち、地域が「共創」されるようになってきている。本講義では、地域の共創の近年の動向やその特色、そして将来的な展望について、専門領域の異なる教員が自身の専門領域の視点から解説していく。本講義を通じて、時代のまちづくりの意義、そして共創の重要性と向き合っていく。本講義を通じて、</p> <p>基本的には以下のスケジュールで進行していくが、状況に応じて多少の変更が生じる場合がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「地域を共創する」という考え方について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまで)を題材に、地域共創の実践例を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>不登届とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>環境問題の解決に向けた取組事例を通じて、地域共創のあり方を考える</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>災害と自治体の関係を考える</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>これからの地域の共創のあり方について考える</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	「地域を共創する」という考え方について学ぶ	2	世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ	3	地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える	4	北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまで)を題材に、地域共創の実践例を学ぶ	5	「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える	6	農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ	7	不登届とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える	8	公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える	9	芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ	10	地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える	11	海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える	12	環境問題の解決に向けた取組事例を通じて、地域共創のあり方を考える	13	災害と自治体の関係を考える	14	これからの地域の共創のあり方について考える	15	
回	内容																																
1	「地域を共創する」という考え方について学ぶ																																
2	世界のクリエイティブシティから、地域共創とシビックプライドを学ぶ																																
3	地域の歴史、民俗、産業、自然科学、美術などに關する資料が集まる、知の宝庫としての博物館を活用した地域づくりを考える																																
4	北九州市における環境政策の歴史的展開(公害対策からSDGsまで)を題材に、地域共創の実践例を学ぶ																																
5	「地域共創」を憲法と地方自治法の観点から住民自治と住民参加の角度で考える																																
6	農業の6次産業化を例に、農業と地域との共創について学ぶ																																
7	不登届とビジネスを継続・発展させている小規模な企業たちが、なぜ存続成長できているのか、その要因を考える																																
8	公共コミュニケーションの視点から地域の共創を考える																																
9	芸術文化の力を活用した地域づくりの手法やその担い手について学ぶ																																
10	地域祭礼の文化財指定に向けた調査事例を紹介し、地域文化のこれからの考える																																
11	海を活かしたまちづくりを例に、海と地域の共創について考える																																
12	環境問題の解決に向けた取組事例を通じて、地域共創のあり方を考える																																
13	災害と自治体の関係を考える																																
14	これからの地域の共創のあり方について考える																																
15																																	
B 授業計画(テーマ及び学習内容)																																	
C 到達目標/Class Goal	<p>・地域づくりへの多様なアプローチについて理解できる ・「地域共創」という考え方を理解できる</p> <p><事前・事後学習について> 大学設置基準第21条第2項に「一 単位の授業科目を四十五時間の学習を必要とする内容をもって構成することを得準とし」と記載されている。本科目は1単位の授業であるため、受講時には90時間の学習が求められる。授業時間は100分×14回=21.5時間であるため、90時間から21.5時間を引いた68.5時間が、事前・事後の総学習時間となる。授業1回あたりでは、68.5時間÷14回=4.9時間/回の事前・事後学習が受講生には求められる。</p>																																
D 事前学習の内容(事前・事後学習)	<p><事前・事後学習の内容> 事前学習: 地域共創の事例について、自分なりに調べ整理しておく(2.25時間) 事後学習: 講義内容の復習(2.5時間)</p>																																
E 評価基準/Grading Criteria	地域共創学部授業科目履修規定第43条(成績評価基準)に基づき評価する。																																
F 評価方法/Grading Method	毎回の講義でのミニレポート(100%)																																
G 受講上の注意/Class Rules	・出席については受講生自身が責任を持って管理すること ・講義中は質問や意見を求めることがあるため、その機会を逃さないように集中して講義に臨むこと特に厳しくない。																																
H 受講制限/Prerequisite	地域共創学部のすべての科目の基礎となる重要な科目の1つであることを強く意識して履修に臨むことが望ましい。																																
I 関連する科目/Related Class																																	
J 教科書/Text	必要に応じて適宜指示をする。																																
K 指定図書/Assigned Books	必要に応じて適宜指示をする。																																
L 参考文献/Bibliography	必要に応じて適宜指示をする。																																

大学の学修（学修と学習のちがい）

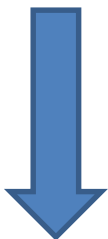
①自分で学修計画（時間割）を作成する。



②自分で履修登録を行う。



③授業を受ける。



レポート
提出



定期
試験



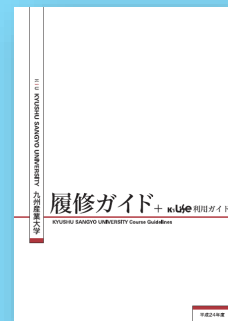
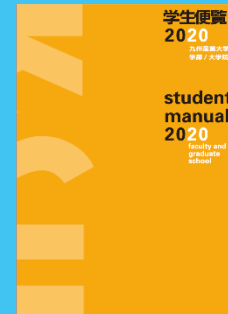
④単位を修得する。



⑤卒業に必要な単位を修得する。



⑥卒業



学生便覧・履修ガイド・
授業時間割表を参照
すること。

科目について

九州産業大学の教育課程

基礎教育科目

- 広く様々な学問を学び人間力を養う

外国語科目

- 英語・英語会話及びその他の外国語科目を学ぶ

専門科目

- 特定の分野について専門的に学ぶ（学部によって異なる）

卒業（124単位以上）

1年次の単位修得について(重要事項)

- ①1年次40単位以上を目安として修得すること。
 - ・前学期、後学期20単位を目安にバランスよく修得を目指す。
- ②2年次終了までに56単位以上（基礎数学を含む）修得していない場合、2年次のままとし、3年次に進級することができない。
 - ・後の説明に出てきますが、1年間に履修できる上限が44単位。
1年次終了時での単位数が低い場合、2年次で苦しむこととなります。
- ③理工系の科目は多くが学年と共に積み重ねていく学習です。
 - ・1～2年生で学ぶ専門科目の基礎の中で、わからない部分が残っていると、後々、別の科目でもネックになることがあります。
わからないことがあったら、理解できるまでしっかり聞きに行きましょう。

単位について

区分	*印は必修科目、△印は選択必修科目、○印は選択必修科目かつ全員履修科目、□印は選択科目かつ全員履修科目								
	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
	入門科目		基幹科目		展開・応用科目		卒業要件		
学部共通科目	九州地域学	2	地域産業基礎論	2					
学科共通科目	総合学入門	2							
	キャリアデザイン入門	2							
	* 観光学入門 I	2							
	観光学入門 II	2							
	○ コース入門ゼミナール	2	○ ゼミナール I	4	○ ゼミナール II	4	○ 卒業論文ゼミナール	8	
	○ 高度化総合デザイン入門 I	2	△ 観光デザイン分析	2	日本近代史 (2)				
	○ 地域研究入門 I	2	○ 観光学入門 I	2	日本史特論 I (2)				
	○ ロジカルライティング入門	2	○ 外語史	2	日本史特論 II (2)				
	○ データ分析入門 I	2	○ 法學概論 I	2	日本史概論 (2)				
	○ 情報リテラシー入門 I	2	○ 情報概論 I (国語を含む)	2	西洋史 (2)				
○ 情報リテラシー入門 II	2	○ 哲学	4	東洋史 (2)					
△ 観光地理学入門	2			社会学概論 I (2)					
○ 経済学入門	2			社会学概論 II (2)					
○ 倫理学入門	2			倫理学概論 (2)					
グローバル・シミュレーション									
門	○ 国内観光研究 A	4	△ 観光高研 III (4)						
	△ 国際観光概論	2	△ 観光中国語 III (4)						
	△ アジア観光基礎論	2	△ 観光韓国 III (4)						
	△ コミュニケーション基礎論	2	△ Practical English (2)						
	△ マーケティング基礎論	2	△ Practical Chinese (2)						
	△ 世界産業基礎論	2	△ Practical Korean (2)						
	△ 観光高研 I	4	△ 観光高研 II (4)						
	△ 観光高研 II	2	△ アジア観光研究プロジェクト	2					
	△ 観光中国語 I	4	△ 国際観光論 (2)						
	△ 観光中国語 II	4	△ アジア観光論 (2)						
	△ 観光韓国 I	4	△ MIC産業論 (2)						
	△ 観光韓国 II	4	△ 観光高研研究プロジェクト (2)						
	○ 国内観光研究 A	2	△ 観光地域研究プロジェクト (2)		○ ニューズ論文 (2)				
	△ 社会学	2	△ 観光地域研究プロジェクト (2)						
	△ 観光まちづくりデザイン基礎論	2	△ 観光地理学 (2)						
△ 観光まちづくりデザイン応用論	2	△ 観光文化論 (2)							
△ 九州観光基礎論	2	△ 観光まちづくりデザイン論 (2)							
△ 観光交流基礎論	2	△ 観光地域デザイン論 (2)							
△ 観光史	2	△ 観光社会学 (2)							
△ 地理学	4	△ 観光政策論 (2)							
△ 経営学概論	4	△ 観光政策論 I (2)							
△ 人文地理学	4	△ 観光政策論 II (2)							
△ 自然地理学	4	△ 観光地理学 (2)							
日	○ 国内観光研究 B	2	△ ホテルマネジメント実習 (2)						
	△ 多文化基礎論	2	△ ホテルの企画・業務システム (2)						
	△ サービス産業基礎論	2	△ 旅行情報システムプロジェクト (2)						
	△ 観光経営基礎論	2	△ ホテルマネジメント (2)						
	△ 宿泊業基礎論	2	△ サービスマネジメント (2)						
	△ 旅行業基礎論	2	△ 観光経営論 (2)						
	△ 観光産業基礎論	2	△ ホテル経営論 (2)						
	△ 航空産業基礎論	2	△ 旅行実習論 (2)						
	△ 観光心理学概論	2	△ 旅行実習論 (2)						
	△ 航空キャリア実習	2	△ 観光心理学 (2)						
△ クルーズ産業実習	2	△ 観光人材開発論 (2)							
△ アムステルダム観光	4	△ 観光行動論 (2)							
英語力養成科目	□ 九州おもてなし実践論	2	△ フランシイズ基礎実習	2	△ 観光人材開発プロジェクト (2)				
	フィールドワーク入門	2	△ 観光地実習プロジェクト (2)						
	九州観光リーダー論	2	△ 観光地実習プロジェクト (2)						
	海外観光研究 B	4	△ 観光地実習プロジェクト (2)						
	海外観光研究 C	4	△ 国内観光研究 (2)						
キャリア開発	□ インターンシップ入門	2	△ 観光インターンシップ	6	キャリア開発講座 B (2)				
	ICB(国際キャリア開発) I	2	△ 卒業生実習 I (SFD)	2	キャリア開発講座 C (2)				
	卒業生実習 II (SFD)	2	△ 卒業生実習 II (SFD)	2					

区分	*KSU基幹教育プログラム			
	第1年次		第2年次	
	授業科目 (単位)	授業科目 (単位)	授業科目 (単位)	授業科目 (単位)
基礎科目	基礎ゼミナール (アプライマリーセミナー)	(2)		
	基礎ゼミナール I	(2)		
	基礎ゼミナール II	(2)		
	情報基礎実習 A	(2)		
	情報基礎実習 B	(2)		
	★キャリア開発基礎論 (2)	★キャリア開発基礎論 (2)		
	★実用英語 I (文筆力)	(2)	★実用英語 II (口述力)	(2)
	★実用英語 II (読解力)	(2)	★実用英語 III (聴取力)	(2)
	★実用英語 IV (表現力)	(2)		
	★英語の授業	(2)		
実践科目	★観光実習 I	(2)	★観光実習 II	(2)
	★観光実習 III	(2)	★観光実習 IV	(2)
	★観光実習 V	(2)	★観光実習 VI	(2)
	★観光実習 VII	(2)	★観光実習 VIII	(2)
	★観光実習 IX	(2)	★観光実習 X	(2)
	★観光実習 XI	(2)	★観光実習 XII	(2)
	★観光実習 XIII	(2)	★観光実習 XIV	(2)
	★観光実習 XV	(2)	★観光実習 XVI	(2)
	★観光実習 XVII	(2)	★観光実習 XVIII	(2)
	★観光実習 XIX	(2)	★観光実習 XX	(2)
外国語	Reading & Writing I (1) Reading & Writing II (1) Reading & Writing III (1)		Reading & Writing IV (1) Reading & Writing V (1) Reading & Writing VI (1)	
	Listening & Speaking I (1) Listening & Speaking II (1) Listening & Speaking III (1)		Listening & Speaking IV (1) Listening & Speaking V (1) Listening & Speaking VI (1)	
	English Expressions (2)		Advanced Reading & Writing I (2) Project I (2)	
	Four Skills I (2) Four Skills II (2)		Advanced Reading & Writing II (2) Project II (2)	
	Labo Training I (1)			
	Labo Training II (1)			
	Introduction to the English Professional Working Skills (4)			
	Introduction to Translation (4)			
	Writing for Specific Purposes (2)			
	Domestic Job Training Overseas Job Training (4)			
英語力養成科目	ドイツ語 I (1) ドイツ語 II (1) ドイツ語 III (1) ドイツ語 IV (1)		ドイツ語 V (1) ドイツ語 VI (1) ドイツ語 VII (1) ドイツ語 VIII (1)	
	フランス語 I (1) フランス語 II (1) フランス語 III (1) フランス語 IV (1)		フランス語 V (1) フランス語 VI (1) フランス語 VII (1) フランス語 VIII (1)	
	韓国語 I (1) 韓国語 II (1) 韓国語 III (1) 韓国語 IV (1)		韓国語 V (1) 韓国語 VI (1) 韓国語 VII (1) 韓国語 VIII (1)	
	中国語 I (1) 中国語 II (1) 中国語 III (1) 中国語 IV (1)		中国語 V (1) 中国語 VI (1) 中国語 VII (1) 中国語 VIII (1)	
	ロシア語 I (1) ロシア語 II (1) ロシア語 III (1) ロシア語 IV (1)		ロシア語 V (1) ロシア語 VI (1) ロシア語 VII (1) ロシア語 VIII (1)	
	スペイン語 I (1) スペイン語 II (1) スペイン語 III (1) スペイン語 IV (1)		スペイン語 V (1) スペイン語 VI (1) スペイン語 VII (1) スペイン語 VIII (1)	
	ポルトガル語 I (1) ポルトガル語 II (1) ポルトガル語 III (1) ポルトガル語 IV (1)		ポルトガル語 V (1) ポルトガル語 VI (1) ポルトガル語 VII (1) ポルトガル語 VIII (1)	
	イタリア語 I (1) イタリア語 II (1) イタリア語 III (1) イタリア語 IV (1)		イタリア語 V (1) イタリア語 VI (1) イタリア語 VII (1) イタリア語 VIII (1)	
	オランダ語 I (1) オランダ語 II (1) オランダ語 III (1) オランダ語 IV (1)		オランダ語 V (1) オランダ語 VI (1) オランダ語 VII (1) オランダ語 VIII (1)	
	韓国語 I (1) 韓国語 II (1) 韓国語 III (1) 韓国語 IV (1)		韓国語 V (1) 韓国語 VI (1) 韓国語 VII (1) 韓国語 VIII (1)	

2	4	2	2	2	1
2	2	2	2	2	1
2	2	2	2	2	1

= 124単位

基礎教育科目及び外国語科目について

★KSU基礎教育コア科目

区分	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	卒業要件
	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	授業科目(単位)	必要単位 選択単位
導入科目	基礎ゼミナール (2)				
	基礎ゼミナール(フライマリーセミナー) (2)				
	導入ゼミナールⅠ (1)				
	導入ゼミナールⅡ (1)				
	情報処理演習 A (2)				
	情報処理演習 B (2)				
	実用英語Ⅰ (英能力) (2)	★キャリア形成演習 (2)	★キャリア形成演習 (2)		
	★実用英語Ⅱ (英能力) (2)				
	★英語的教養Ⅰ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
実践科目	★英語的教養Ⅱ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
	★英語的教養Ⅱ (2)				
教養科目	★日本の歴史 (2)				
	★世界の歴史 (2)				
	★法学 (2)				
	★日本国憲法 (2)				
	★現代の政治 (2)				
	★倫理学 (2)				
	★哲学の世界 (2)				
	★文学の世界 (2)				
	★心理学概論 (2)				
	★文化人類学 (2)				
実務科目	★社会学 (2)				
	★科学の世界 (2)				
	★地理の世界 (2)				
	★現代の経済 (2)				
	★現代の経営 (2)				
	★数学の世界 (2)				
	★数学の世界 (2)				
	★数学・美術史 (2)				
	★音楽概論 (2)				
	★アートスクール (2)				
科目	★世界の美術概論 (2)				
	★人権・同僚問題 (2)				
	★ジェンダーと社会 (2)				
	★職業倫理 (2)				
	★総合演習 A (2)				
	★総合演習 B (2)				
	★総合演習 C (2)				
	★総合演習 D (2)				
	★総合演習 E (2)				
	★総合演習 F (2)				
外国語科目	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	
	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	
	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	
	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	
	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	
	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	
	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	
	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	
	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	
	★英語Ⅰ (1)	★英語Ⅱ (1)	★英語Ⅲ (1)	★英語Ⅳ (1)	

基礎教育科目 14単位以上

★コア科目
履修を推奨する科目です。
コア科目を中心に履修しましょう

外国語科目
英語8単位以上
英語科目
フレイスメントテスト結果をもとに、
自分の能力に応じたクラスに編成されます。
英語科目2科目が事前に登録されています。

授業時間割について

3種類あります。

①専門科目

②「基礎教育・教職・留学生の日本事情科目」
(KSU基盤教育)

③「外国語科目・留学生の日本語科目」
(KSU基盤教育)

②及び③は、全学共通で開講されます。

※基礎教育・外国語科目時間割に記載されている科目は、
基本的にどの学部・学科であっても履修できます。(英語は決まっています！！)

授業時間割について

・教室の見方について

N101	・・・	1号館北側1階	01教室
2E301	・・・	2号館東側3階	01教室
OA2	・・・	1号館6階	OA教室の2
12101	・・・	12号館1階	01教室
8208	・・・	8号館2階	08教室

授業時間割を変更する場合

- ①授業が追加される
- ②受講者数などの理由により、教室を変更する
- ③担当者が変更するなど

※K'sLifeで通知を行います。

履修単位上限数について (CAP)

単位修得に必要な学修時間を確保するため、1年間に履修登録できる単位数の上限を定めています。

理工学部 情報科学科

1年次 44単位(年間)

2年次 44単位(年間)

3年次 44単位(年間)

4年次 44単位(年間)

※2年次終了時に1.2年次配当の授業科目を**合計56単位以上**
(基礎数学含む)修得していなければ、2年次のままとし、3年次に進級することができない。

英語のクラスについて

英語クラスは能力別クラスとなっており、先日受験した英語プレイスメントテストのスコアによりクラス分けされます。

「Reading & Writing I・II」と「Listening & Speaking I・II」の4科目は、4/7(火)までに仮登録されます。

→英語クラス分け結果については、4月7日(火)に大学のポータルサイトK'sLifeを確認すること。

実用国語、数理的教養の履修について

国語プレイスメントテスト結果をもとに、国語科目を予め登録している場合があります。

以下の科目が既に履修登録されている場合、必ず履修し、単位修得できるよう頑張ってください。

「実用国語Ⅰ（文章力）」、「実用国語Ⅱ（国語力）」、「実践キャリア学修B」

数学プレイスメントテスト結果をもとに、基礎教育センターから「数理的教養Ⅰ」の履修を促す場合があります。その際は「数理的教養Ⅰ」を履修するようにしてください。

受講者数の上限数について

受講者数の上限が設定されています。

履修の画面に

- : 残数が30%以上
- △ : 残数が30%未満
- × : 残数が0%

履修については、早めに登録すること。
教室の規模に応じて、履修登録を制限しているため、教室の座席数を超えて、履修登録することができない設定となっている。



ということは、早めに履修登録しないと、履修できなくなる可能性がある……。

令和2年度新規科目について

「実践力育成演習B」(担当者:鶴田先生、松岡先生、村上先生)

「AIを使いこなす人」を育てるため、
全学共通基礎科目として、AIに関する授業を開講します。
AIの魅力と必要性を体感する授業です。
※同一授業科目名称で内容の異なる科目があるので注意すること。

「総合講座D」担当者:今村先生

「先を読む力」「論理的思考力」「コミュニケーション力」の向上を
図るため、囲碁に関する授業を開講します。
囲碁のルールを解説し、実際に対局を行います。

履修制限科目について

履修が制限されている科目があります。

初回授業に出席して受講許可が得られる科目

- ・実践力育成演習A
- ・スポーツ科学演習 等
- ・課題解決演習A・B

WEB履修登録説明会

※WEB履修説明会において、履修登録の仕方をお教えします。
履修登録は、4/7(火)に一斉スタート！！それまでに授業科目を選定しておくこと。

WEB履修登録説明会

時 間:4月6日(月)15:00~16:00

場 所:中央会館4階 パソコン教室1

※履修ガイド・授業時間割表を必ず持参すること！

前学期履修登録期間・・・4月7日(火)~4月9日(木)

前学期履修登録**変更**期間・・・4月27日(月)~4月30日(木)

後学期履修登録**変更**期間・・・9月8日(火)~9月18日(金)



「履修登録」や「履修変更」などはK'sLifeで登録を行った**翌日以降**に出力し、内容に間違いがないか必ず確認してください。

履修したら

①教科書の購入

- 履修ガイド・教科書購入一覧を参考に自分が履修した科目の教科書を確認する。
- 教科書購入申込書(OCR)を使って購入する。
- 教材販売:4月4日(土)9:00~
- 教科書販売:4月7日(火)~ 場所:中央会館2F販売所

②授業に出席する(半期14回)

- 時間割を見て、教室を確認して、教室に入ってください。
- 教室の変更等は、K'sLifeを使って確認できます。
- 出席登録のためには学生証が必要です。

③休講・補講について

- **休講**:授業担当者がやむ負えない理由で授業が行われない場合があります。
- **補講**:休講した授業を補うために行う講義。

**休講・補講の情報はK'sLifeで通知します。
毎日、確認してください。**

試験について

前学期定期試験 7/25(土)～7/31(金)

後学期定期試験 1/8(金)～1/18(月)

以下に該当すると試験が受けられません！！

- ・履修登録をしていない。
- ・授業の出席回数が2分の1に満たない。
- ・修学費を納めていない。
- ・学生証を所持していない。
- ・試験に20分以上遅刻した。

定期試験時間割表は試験開始2週間前に**教務課HP**に掲載します。
必ず確認を行い、受験忘れなどしないように注意して下さい。

追試験

- ・病気その他やむを得ない事由で定期試験を受験できなかった学生に対して行う試験。
- ・追試験を申し出ることのできる要件は学生便覧で確認すること。
- ・定期試験最終日の翌日までに、所定の書類を教務課に届けること。

教職資格等について

教職・学芸員・社会教育主事・司書等 資格取得が可能

教職課程……………1年次後学期から履修開始。
1年次生を対象に7月頃教職ガイダンスを実施します。

司書・学芸員・社会教育主事…1年次前学期から履修開始

資格課程ガイダンス(司書・司書教諭・学芸員・社会教育主事)
該当学生には、K'sLifeにてお知らせしますので、
必要な手続きを行って下さい。

奨学金関連のお知らせ

「日本学生支援機構」

※高校時に申請を行い「採用候補者」となった学生が対象!!

日程	開始時間	対象学部	場所
4月2日(木)	15:00	商学部(経営管理)	1号館4階 S404番教室
	15:30	商学部(流通マーケティング)	
4月3日(金)	9:30	経済学部	1号館2階 S201番教室
	10:00	人間科学部(臨床心理・子ども教育)	
	10:30	地域共創学部(観光)	
	11:00	人間科学部(スポーツ健康科)・建築都市工学部(建築)	1号館1階 S101番教室
	14:00	地域共創学部(地域づくり)	
	14:30	建築都市工学部(都市デザイン工)	
	15:00	国際文化学部	
4月6日(月)	9:00	理工学部(情報科)	1号館2階 S201番教室
	9:30	理工学部(機械工)	
	10:00	理工学部(電気工)	
	10:30	芸術学部(生活環境デザイン)、生命科学部	
	11:00	芸術学部(芸術表現・ソーシャルデザイン)・建築都市工学部(住居・インテリア)	
	11:30	芸術学部(ビジュアルデザイン・写真映像)	

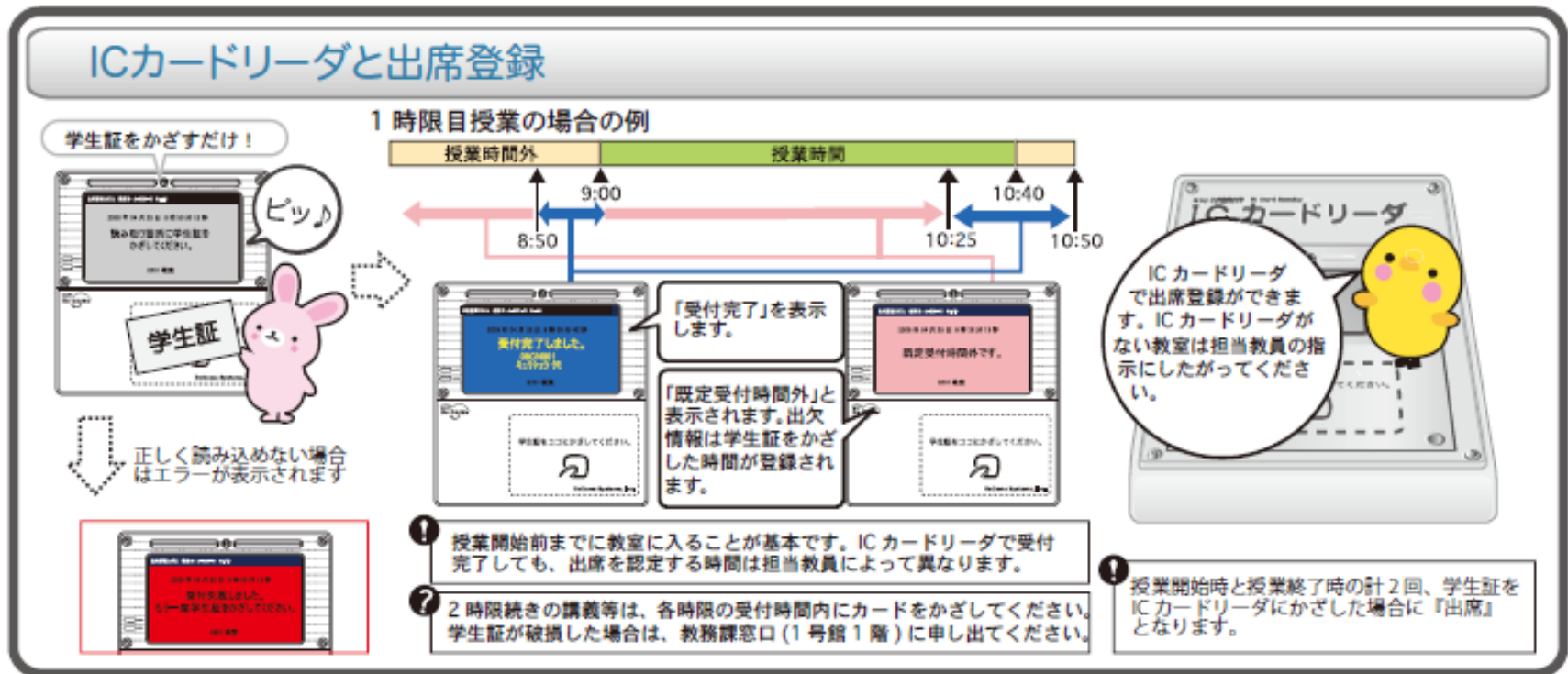
※なお、高校時に申請していない方で、日本学生支援機構奨学金の貸与を希望される方につきましては、この説明会ではなく、新規在学採用の説明会を別途開催します。掲示板等で日程・集合時間等を確認のうえ、出席してください。ご不明な点については、1号館3階の厚生課にお尋ねください。

4月22日（水） 授業開始

※履修登録変更期間は、**4月30日(木)**までですが、授業によっては出席を取り、授業の内容も進んでいきます。

受講希望の授業には必ず出席しましょう！

授業の出席について



※ICカードのかざし忘れには注意すること。

※かざす時間帯に注意すること。

チャレンジマンズについて

チャレンジマンズ

・100分授業の導入に応じて、

夏季や春季の休業期間の延長

→長期休業期間中の学外での活動を推奨

(例: 海外研修・留学、ボランティア等の社会貢献活動、インターンシップ参加など)

出席について

出席について

本学学生のデータ分析の結果、
授業全体の出席率が**80%以下**になると、単位
修得率が大きく下がることが分かっています。
→急な病気等で休まないといけないこともある
ので、普段から授業にはきちんと出席すること。

三者面談について

三者面談

- ①学期途中で出席率が低い学生については、保護者の方へ文書を送付します。
- ②連続して対象となった学生については、**警告文書、退学勧告文書**を送付します。
- ③学期末に出席率、GPA、修得単位数が低い学生については、**三者面談**を行います。
- ④改善が見られない場合については、学則に基づく**懲戒(訓告、退学処分)**を行うことがあります。



対象にならないように、授業には**必ず**出席しましょう！

各種掲示板・連絡通知について

※時間割の変更、休講・補講、教室変更、科目担当者からの連絡などは・・・

- ① K's Lifeで通知される
- ② 教務部HPに掲載される



毎日確認すること!!

教務部HPについて

教務部ホームページ

授業や時間割など教務に関する情報を掲載していますので皆さん確認をしてください。

トップページ

- 教務課からのお知らせ
教務関係のお知らせを掲載します。
- よくある質問
問い合わせが多い内容を掲載します。
- 利用の手引き
- 学籍関係
- 教務の紹介

etc.....

学部のページ

- 履修・授業・卒業に関すること
履修規程の要点を分かりやすくまとめました。
卒業要件や履修のルールを確認してください。
- 時間割
授業の時間割を掲載しています。
試験前は試験時間割を掲載します。
- 学部からのお知らせ
教務関係のお知らせを掲載します。

etc.....

<http://www.eas.kyusan-u.ac.jp/>



本日以降の予定について

4/3(金)

13:00～14:00: 学科懇談会<8209教室>

4/6(月)

10:00～10:30: 奨学金説明会<S201教室>

13:00～14:00: 教育・教務ガイダンス<N303教室>

15:00～16:00: 履修登録説明会<パソコン教室1>

4/22(水)授業開始

※詳細は、新入生オリエンテーション等日程表を確認すること

最後に・・・

大学では、クラス担任の先生をはじめ、多くの方が、修学から些細な相談にいたるまで、親切な指導をされています。判らないことはなんでも聞いてください。

履修登録やその他相談事項があれば、
1号館1階 **教務部教務課窓口**
までお越しください！！

092-673-0000からの電話は、大学からです。落し物や、重要な連絡の場合がありますので、電話に出てください。



コロナウイルス感染症拡大に伴う 本学の対応について

K' s Life、HPで随時情報を更新していますので、必ず確認するようにしてください。
大学への出校等に関わる本学の方針に従い、各自、自己防衛に努めてください。